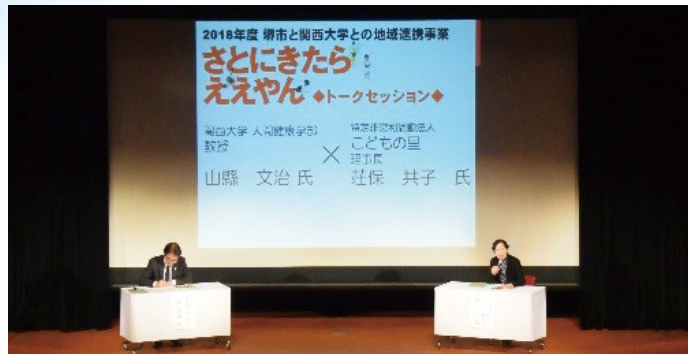




子どもの貧困への取組み： 映画「さとにきたらええやん」を通じて考える



DATA

- 主な連携先・メンバー
認定NPO法人 こどもの里理事長 荘保共子氏／堺市子ども青少年局／堺市社会福祉協議会
- 活動地域
大阪府堺市
- 活動期間
2018年度
- 活動資金
堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

市民及び学生参加者が、子どもの貧困への取組みにおいて、個別支援および地域福祉の視点の双方の重要性を理解し、具体的な実践に結びつける



連携にいたる経緯

西成区釜ヶ崎において、こどもの貧困や生活問題に取り組んできた「認定NPO法人こどもの里」の約40年間の活動が、映画「さとにきたらええやん」としてとりまとめられたことを契機に、堺市における地域福祉の取組みのあり方について考えるため、映画の上映会および講演・トークセッションを行うこととなった。

活動内容

映画上映会およびトークセッション「さとにきたらええやん」

日 時：2019年1月20日(日) 13:30～16:00
会 場：堺市総合福祉会館
対 象：堺市民・福祉関係者・その他
参加者：約100名

- 内 容：
1. 映画上映 「さとにきたらええやん」
 2. 講演・トークセッション 荘保共子氏(認定NPO法人こどもの里理事長)
山縣文治(関西大学人間健康学部教授)
 3. 堺市子ども企画課講演 「堺市における子ども食堂の取り組み」

活動の成果

- 1 子どもの貧困問題に関心のある市民、民生委員児童委員、堺市内外の子ども食堂実践者等が参加し、子ども食堂や学習支援等の取組みについて理解を深める場となった
- 2 こどもの里に対するチャリティを目的に、会場内に募金箱を設置し、参加者から計18,735円の募金が集まった

今後の課題・目標

堺市内での子ども食堂の広がりを踏まえ、それらの取組みを応援するような事業・イベントを計画していく

教員紹介



■ 人間健康学部 准教授
福田 公教
Kiminori Fukuda

専門は社会学、子ども家庭福祉論。社会的養護の普及・啓発および社会的養護下にある子どもの自立支援のあり方について研究を進めている。妻とともに「はぐみホーム(養育里親)」をつとめている。



■ 人間健康学部 教授
所めぐみ
Megumi Tokoro

地域の生活課題や福祉課題に対して、地域の様々な人々が自分たちの課題として、自分たちのできること・やりたいことを協働で進める地域福祉実践に惹かれている。地域福祉実践の研究と地域福祉実践に携わる専門職や地域リーダーらの協働での研修プログラム開発などにとりくんでいる。



■ 人間健康学部 教授
山縣 文治
Fumiharu Yamagata

学生時代から子ども家庭福祉に関心をもち、教員になってからもその課題を追っている。